

国が持っている。一方、2005／2006鳥インフルエンザの問題が発生したのを機に、パンデミック宣言に対処するための新型インフルエンザ行動計画がWHOにより策定された。この計画はパンデミック宣言が発令された際に速やかにワクチンを製造するためのものであった。その時点で、各国は製薬会社に新型インフルエンザワクチン購入予約を入れ、新型登場の際には、その全量を購入するという密約を結んだ。2009年春にメキシコでインフルエンザの流行が発生した際に、WHOは大手製薬会社、その会社に協力している科学者と結託してパンデミックの定義を変更し、定義の基準を緩和してしまった。新しい定義により、2009年5月初め、WHOがフェーズを上げるために、各政治家は早急に対応しなければならなくなってしまった。季節性ワクチンとは別途に、A(H1N1)2009<単価ワクチン>の追加発注にサインをするはめに陥った。

2009年4月の最初の段階から、A(H1N1)2009は通常の毎年のインフルエンザと何ら変わることとはなかった。むしろ、例年のインフルエンザより症状が軽いことはメキシコの最初の数例で判明していた。それにもかかわらず、A(H1N1)2009インフルエンザキャンペーンは増長し、人々を恐怖に陥れ、テレビの画面を埋め、新聞紙面を占め、保健に関する行政その他の会議を占領し、救急車と病院を満員にした。これほど1つのウイルスの足跡がたどられたことは今までなかった。おまけに、多くの死亡がH1N1抗体陽性であるという理由でA(H1N1)2009による死亡とされ、ますます恐怖をあおった。さらに加えるなら、少なくとも60歳以上の人の1/3はこの50年間のインフルエンザの波をかぶったために抗体陽性である。むしろ、話は逆である。今回の緊急動議を提唱するための準備として、委員会もメンバーの皆様には次のことを十分理解してほしい。2008年までの毎年流行したインフルエンザと比較すれば、2009年にA(H1N1)2009の世界的流行は、世界の保健のための救いの神であった。オーストラリアの冬の終わりと共にインフルエンザのシーズンは既に終了した。オーストラリアの流行により、A(H1N1)2009はそれ以外のもっと危険なインフルエンザウイルスに対して免疫を付与したことが証明された。それにもかかわらず、我々は欺瞞のA(H1N1)2009インフルパンデミックが危険きわまりないワクチンを販売するために利用されているのを見ていなければならない。

不必要なワクチン接種を受けた数百万人の人達のうち、健康被害を受けた犠牲者はそれぞれの国で補償されなければならない。それとは独立して科学的な解明が証拠を明らかにし、透明度の高い状態で各国の裁判所あるいは必要とあればヨーロッパの裁判所で裁かれるであろう。

スの脅威を誇張したとWHOを告発した。わが国を含む各国の報道機関は、WHOと新型インフルエンザのワクチンを製造する製薬会社との癒着が、世界的（パンデミック）を宣言したWHOの判断に影響を与えたとの疑惑が浮上し、欧州47ヶ国が加盟する欧州会議（Council of Europe）（本部・仏ストラスブール）は12日、調査を開始すると発表したことを報道した。続く説明は以下のようなものであった。同会議保健衛生委員会の委員長はドイツ人医師ヴォーダルク氏が「虚偽のパンデミック」動議を提起した。WHOを告発した。ヴォーダルク氏は世紀最大の医学界スキャンダルであると言い、調査を要求した。WHO内のあるグループの職員が製薬会社と癒着している可能性を問題とした。これに関して1月28日に開催されるヨーロッパ委員会総会で緊急に審議が行われる予定。ヴォーダルク氏は仏リュマニテ紙のインタビューに以下のように応えた。「豚インフルエンザワクチンについての懸念を表明した。ワクチンはあまりにも性急に開発された。そのため、一部の添加物は十分（安全性が）テストされていない。さらにひどいことがある。ノバルティスファーマのワクチンは癌細胞からのバイオリアクターを含んでいる。このテクニックは今までワクチン製造に利用されたことがない。新型登場宣言は不必要であった。保健衛生のためのかなりの予算の無駄使いであった。ついに我々が政府に要求する時が来た。WHOおよび製薬会社への内部調査は将来このような虚偽のパンデミック宣言を出すことを防止するためである。世界中の人々にこの調査と国家レベルならびに国際レベルの公衆衛生関連機関の意見を信頼してもらえるようにしなければならない。残念ながら、国際機関は信用を失った。数百万人の人達がすでに潜在的に健康を害する可能性のある物質を含むワクチン接種を受けてしまったからである⁹⁹⁻¹⁰⁰⁾。」

世界では、今までに12,700人がインフルエンザA(H1N1)2009に感染して死亡した。しかし、このウイルスは当初恐れられていたほどの殺人ウイルスではないことが判明した。WHOは最初、このウイルスは数百万人を殺す威力があるから、人類の脅威である発表し、治療法とワク

2010年1月12日、ジュネーブにおいて、ヨーロッパ各国政府の議員は、ワクチンを製造する製薬会社の圧力に屈してA(H1N1)2009ウイル